

セラミック炭の有効利用方法

1. セラミック炭とは

森林内に放置されたままの未利用資源である間伐材、主にパークの主原料である杉をチップに加工したものに、セラミックパウダーをコーティングし、高温・短時間で焼成炭化した新しい炭です。

特徴

- ① 80%を越える空間率を誇り多孔性に優れている為ガス吸着性・保水性・保肥性が高い
- ② 植物の生育に必要な金属イオンをセラミック化して配合
- ③ 弱アルカリ性を示し酸性土壌の中和作用がある
- ④ 遠赤外線効果により土壌の保温性が高い

2. 利用方法

1) 表層散布

使用方法：表土の上に、約5mmの厚みで敷き詰める。

- 使用効果：(a) 土中放出ガスの吸着。
(b) 液肥を一度保管し、徐々に土壌へ溶出。
(c) 農業用水の不純物を吸着、良い状態で水分を補給
(d) 害虫発生抑制。

2) 土中混合

使用方法：表土面積に対し容積比で5～10%を分散混合。

例 1㎡の表土に対し50%～100%
品種、使用している用土、肥料によって異なります。

- 使用効果：(a) 保水性、保肥性（液体肥料でも）の向上。
(b) pH調整、土中有用微生物の繁殖促進の優れた土壌に生まれ変わる。（有用微生物の菌床となる）
(c) ポットの軽量化、作業性UP

3) 客土下へ敷き詰める

使用方法：用土の下層部に約1cm程度敷き詰める。

- 使用効果：(a) 植物の根が通常伸びる位置から少し離れたところに保水性・保肥性が高い層を造ることにより、根を通常より発育させる効果がある。
(b) 土中の水分の調整力が高く、また腐朽菌やその他の病原菌の発生抑制力がある。